

1. 会議名	令和7年度 第1回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議
2. 開催日時	令和7年(2025)6月24日(火) 10:00~11:45
3. 開催場所	出雲市役所本庁3階 庁議室
4. 出席者	<p>《委員》</p> <p>【出席】</p> <p>松本新吾会長、山岡 忍副会長、大場 利信委員、陰山 篤也委員、加本 るい委員、北脇 正巳委員、坂根 俊委員、須田 のり子、角 健二委員、壺倉 浩平委員、中島 亮委員、原 久子委員、兵井 早苗委員、榎原 綾子委員、松浦 研二委員、三島 慎也委員、渡部 志郎委員</p> <p>【欠席】</p> <p>須山 賢也委員、田中 由美子委員、長瀬 理更委員、福田 実委員、</p> <p>《事務局》</p> <p>商工振興課長、商工振興課職員(6名)、産業政策課長、産業政策課職員(3名)</p>
5. 次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和6年度達成値について</p> <p>(2) 第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和7年度の目標設定について</p> <p>(3) 出雲市中小企業・小規模企業振興モデル事業の事業経過について</p> <p>(4) 出雲市中小企業・小規模企業振興計画の令和7年度の予算・取組について</p> <p>(5) 令和7年度における出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議について</p> <p>3. その他事項</p> <p>4. 閉会</p>

6. 会議内容（概略） ※敬称略

- 事務局
- ・本日は、ご多用の中をお集まりいただき感謝申しあげる。
 - ・ただいまから、令和7年度 第1回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議を開会する。
 - ・下記のとおり委員の交代があった。

【退任】

- ・出雲市議会 児玉 俊雄 委員
- ・出雲市議会 今岡 久人 委員
- ・島根県中小企業課 今田 幸男 委員

【新任】

- ・出雲市議会 大場 利信 委員
- ・出雲市議会 福田 実 委員
- ・島根県中小企業課 中島 亮 委員

以上の皆様に新たに会議の委員を委嘱している。

≪議題1：第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和6年度達成値について及び
議題2：第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和7年度の目標設定について≫
(10:10～10:40)

委員 議題1、議題2を合わせて事務局に説明をお願いする。

事務局 [資料1、資料2に基づいて説明]

委員 ただいまの説明を受けて、何か質問等があるか。

委員 令和6年度の達成値が令和7年度、令和9年度の目標値を上回っているものもあるが、令和7年度、令和9年度の目標値を改定することはあるのか。

事務局 単年ベースでみるもの、累計でみるものがある。累計のものについては、達成すれば目標値を超えてしまうので、見直しをしていかないいけないと考えている。単年ベースの既に達成したものについては事務局で検討させていただき、次回の会でご相談させていただく。

委員 定住外国人の方の数はこちらにカウントされているのか。

事務局 この計画の中で外国人の数がいくらかというふうにはなっていないが、外国人の方も日本人の方と同様に数に入っている。

委員 達成値より目標額が低い箇所があるが、どういう根拠でこうなっているのか。

委員 令和9年度の目標値については第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画で定めた目標値であり、簡単に変更ができないが、観光消費額については、単年ベースのものであり、今後どうなっていくのかを見る必要がある。目標値については、もう少し様子を見ながら、変更が必要ということであれば、振興会議の中でお諮りをして変更を行っていく。

委員 いずれも縁結びPAYの令和6年度の登録者が2,935人となっているが、これは3月末の数字なのか。

事務局 その通りである。

委員 現在6月中旬だが、現在の登録者数はいくらなのか。また、7年度目標値の14,000人の積算根拠はどうなっているのか。

- 事務局 6月15日現在は、3,299人である。いずれも縁結びP A Yの事業者（コンソーシアム）の提案資料の数字である。
- 委員 技能検定の受験者数が減っているのであれば、人数だけを追っていると本当のところは分からないのではないか。
- 事務局 合格率で見るとか、そのあたりは受験される方の過去からの推移も含めて、勉強させていただく。
- 委員 人材育成の就職率の目標値は、全体ではなくて就職希望者のうちの市内就職者ということか。市内就職者の実数を把握しておられれば教えていただきたい。
- 事務局 就職希望者が分母になる。最近では300人弱が就職を希望されているがそのうちの70%弱が市内就職者である。県内就職については80%弱である。
- 委員 いずれも学生登録者数についても目標を大きく下回っており、とても残念である。現在島根県ではジョブカフェしまねさんがとても積極的であると感じている。夏休み等で職業訓練をすると交通費上限5万円まで出るようになってきている。そこでNo13のいずれも学生登録者数に登録するだけでいいのか、そうしたら就職が増えるのかといったところをもう一度検討していただきたい。
- 事務局 まずは学生登録を増やすことが第1だと考えている。ジョブカフェしまねも同じようなもので高校3年生を対象に県、市と一緒に登録のお願いをしているが、同じようなものを2つ入れることで負担になっている。しかしこれを1つにすることは難しい。出雲市では6年度から高校1年生を対象を下げて、3年間かけて増やしていく取組みを行っている。あわせていずれも縁結びP A Yの行政ポイントも付与する取組みも行い増やしていきたいと考えている。

《議題3：出雲市中小企業・小規模企業振興モデル事業の事業経過について》

(10:40 ~ 11:10)

- 委員 議題3について事務局に説明をお願いします。
- 事務局 [資料3に基づいて説明]
- 委員 ただいまの説明を受けて、何か質問等があるか。
- 委員 空き家再生ワーキンググループについては、ここは順調に進んでいる。1月に学生含めて200人くらいが利用している。若い方だけではなく年配の方も利用されている。ユニークな取組みを行っている。また、町内会長にお願いをして空き家の情報をもらっている。空き家が使えるということであれば、買うということではなく、無償もしくはそれに近いもので使えるということになれば、空き家を再生していこうというのが趣旨である。今後は空き家だけではなく、空き店舗の情報を創業者などに情報提供したいと考えている。
- 委員 第2期の計画を作る際に、この振興会議の目的がわからなくなってきた。定めている目標は上位計画の目標であり、厳密に言うと振興会議で定めた計画ではない。ですので、目標に対してどうこう言う場なのかと考える。なにか特徴のある振興会議でできるものがないと思っている。今回たまたま振興モデルの発表があった。内容についてはどの事業もすぐ活発にということはないが、チャレンジのつもりでワーキンググループを組んでされたと思う。今後についても、ワーキンググループのような特徴ある取組みをまたやればいいんじゃないかと思っている。

出雲市地場中小企業・小規模企業振興というタイトルにあった取組みがあってもいいと考えている。また、第2期の計画を立ててから年数も経っているので、目標については、柔軟に変更してもいいと思う。

事務局 振興会議は進捗の確認やご意見をいただく場になっている。ただ、振興計画が地場中小企業の振興にむけて重要な計画であり、毎年皆さんに確認していただき、さまざまな意見をいただく場は大事である。昨年内容についても、コロナの表記があったものについては物価高騰等の新たな状況も反映したところである。モデル事業についてもいい感じで動いているものもある状況の中でモデル事業のような事業の在り方もあろうかと思っている。また、みなさんからご意見をいただき検討していきたい。

委員 雲南市ではスペシャル採択事業がある。去年度、雲南市の採択を受けて、50、60歳のエステティシャンを育てて、その方たちと一緒にボランティアを行った。その結果、3月に一般社団法人を設立し、今も仲間を増やし、雲南市で地域の課題を解決していこうと進めている。地域課題を私たちの仕事で解決をしていくという取組をしようとした時に、今までにないものにチャレンジしていくというモデル事業のような取組みを応援する仕組みがあると良いと感じている。ワーキンググループが取組みのきっかけとしてあって、続くものもあればその時で終わってしまうものもあるかもしれないが、平田の空き家のワーキンググループなどは高校生も巻き込んでいい形で進んでいると感じて、希望を感じた。なので、進捗を見ていくというのも大事だが、ワーキンググループの取り組みも大事な取り組みかなと思う。

委員 今壺倉委員、原委員がいただいたお話は、この会議の設置目的であったり、役割であったり、今後どういう目的で議論をしていくべきかなど、根幹的なお話であったので、事務局の中で検討いただき、次回会議の中で報告いただきたいと思うがどうか。

事務局 ご意見いただいたことを踏まえて、考えていきたい。

《議題4：出雲市中小企業・小規模企業振興計画の令和7年度の予算・取組について》

(11:10 ~ 11:40)

委員 議題4について事務局に説明をお願いします。

事務局 [資料4、5に基づいて説明]

委員 ただいまの説明を受けて、何か質問等があるか。

委員 デジタル商品券の対象者5万人となっているが、振興計画に係る登録者数14,000人は含まれるか。また、利用期限までに使いきらなかった部分のお金についてはどうなるか。

事務局 14,000人は含まれる。利用期限までに使いきらなかった商品券については無効になる。ただ、使い切れなくても、アプリ内で周知を行い、必ず消費につなげるようにはたらきかけていきたいと考えている。

《議題5：令和7年度における出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議について》

委員 議題5について事務局に説明をお願いします。

事務局 [資料6に基づいて説明]

委員 全体を通して、何か質問等があるか。

委員	質問等なし
委員	以上で本日予定されていた議題等の審議は終了となる。進行を事務局にお返しする。
事務局	最後にその他について説明をさせていただく。現在の委員さんの任期が7月30日となっており、今後の継続のご意向について個別にご連絡をさせていただく。また、会議録については、まとまり次第みなさんにご連絡をさせていただく。次回会議は、10月中に開催予定であり、具体的な日程等決まり次第、改めて案内をさせていただく。 以上をもって、令和6年度 第1回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議を閉会する。